

大辺路森林組合だより



もくじ

1. 組合長あいさつ
2. 第20回通常総代会開催
3. お知らせと情報
4. 林業間伐体験
5. 大辺路森林組合歴史をたどる

〒 649-2511

和歌山県西牟婁郡白浜町日置 980-93

TEL 0739 (52) 3424

FAX 0739 (52) 3849

E-mail:oohechi.f-

1441@ofoe.ocn.ne.jp

HP: www.ofoe.jp

組合長あいさつ

代表理事組合長
三本修平

組合員の皆様 平素は大辺路森林組合の運営にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成14年4月に日置川町森林組合・すさみ町森林組合が合併して当組合が誕生し、お陰様で合併20周年を迎えました。

当組合は地域の森林整備、組合員皆様の山を守る使命を果たすと共に、素材生産力の一層の強化を図り国産材自給率（2020年現在41%）を上げ、山主（組合員）の皆様への利益還元に努めてまいります。

昨今の世界情勢（新型コロナ・第三次ウッドショック・ロシアのウクライナ侵攻問題）は、日本の林業界にも大きな課題を突きつけています。外材価格の高騰・輸入量の激減は、国産材のシェア拡大のチャンスであったにもかかわらず、人手不足で供給量を一気に増やせず国内市場の木材製品価格が急騰、一部の原木価格も大きく値上がりし混乱を招きました。今後、今回上昇した国産材価格が安定し適性価格まで回復させられるかは国産材の供給力と外材の動向（世界の経済情勢）次第となります。

当組合員（令和4年3月末現在806人）の皆様が気軽に安心して相談いただける窓口が当組合です。

ぜひお立ち寄り下さい。

○第20回 通常総代会開催

第20回通常総代会が令和4年6月25日日置川拠点公民館において開催されました。コロナ禍ではありますが総代様の出席、岩田勉すさみ町長様、井澗誠白浜町長様、西牟婁振興局林務課長 福田敏和様のご臨席を頂き開催することが出来ました。

総代会の結果については、議案件数11件すべてが承認されました。総代定数200名、本人出席33名書面議決107名となっています。大辺路森林組合として第20回目の通常総代会では、長年組合を支えていただきました職員・作業員に対しまして感謝状の贈呈を行いました。

職員	井上 敦 行	勤続20年
職員	濱口 美和子	勤続20年
作業員	平岩 道 大	勤続20年
作業員	北 春 男	勤続19年
作業員	濱 田 拓	勤続19年
作業員	橋 本 要	勤続19年



○お知らせと情報

《間伐事業の集約化について》

間伐の依頼を受けて事業を実施するに当たり、まず現地を調査して間伐の対象地であるか、過去の施業履歴等を調査します。そして、間伐が必要と判断すると、間伐実施予定地周辺の方にもお声かけさせていただき集約化を図ります。

間伐実施予定地の地形や土質などの自然条件、下方道路の状況や林齢、作業道開設の有無などを調査して搬出間伐が出来るか、切捨間伐（保育間伐）が出来るか等を判断し森林経営計画を策定します。

搬出間伐の場合は、間伐補助金と間伐材の売上げで、森林所有者の方に還元出来るように努力いたします。今まで実施した搬出間伐ではすべての現場で還元出来ております。

担当：井上・鈴木・吉田

《素材の販売について》

皆伐現場、搬出間伐現場から生産される木材のA・B材が日置川中間土場に集積します。C材は現場から直接バイオマス工場等へ運搬し販売します。中間土場では、集まった木材をA材、B材に仕分けを行います。A材は建築用材として地元製材所に販売します。B材は合板材として合板会社に販売します。

すさみ町、旧日置川町の木材には「スギノアカネトラカミキリムシ」による穿孔害は多少に関わらず発生しています。そのため、B材の合板材の比率が5，A材の建築用材3，残り2はC材としてバイオマスやチップ材として販売しております。また、A材のうち特に優良材は現場から直接共販所に出材して競り市にかけます。

販売に際しては、龍神村森林組合に協力を仰ぎ選木、選定等の作業を行っております。

担当：専務理事 田中

○林業間伐体験

県外の小・中学生が間伐の体験に来てくれました。

森林の成り立ち、間伐の必要性などを学んだ後、実際にヒノキの間伐をして頂きました。滑りやすい足場、慣れないノコギリ、最後には班対抗丸太切り競争で盛り上りいっぱい汗をかきましたが、皆さんとても楽しそうでした。

担当：鈴木



大辺路森林組合の20年

年	大辺路森林の動き	林業界の動き	一般社会の動き
平成14年度 設立総代会	平成14年4月1日、日置川町森林組合とすさみ町森林組合が合併。初代組合長に広本正道氏が就任。 組合員835名出資金68,650千円	地球温暖化防止森林吸収源10カ年対策の策定 国産材自給率18.8%	学校週5日制スタート サッカーW杯日韓開催 小泉首相が北朝鮮訪問
平成15年度 (第1回)	緑の雇用事業で6名の作業員を雇用 合計10名職員6名		イラク戦争勃発
平成16年度 (第2回)	緊急雇用事業で林道周辺整備、枯れ松伐倒等を実施		「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録
平成17年度 (第3回)	緑の雇用育成対策事業が終了 U・Iターン者10名が林業就業 日置川町が白浜町と合併し白浜町となる	紀の国森づくり条例成立 木材自給率20.5% 森林組合法改正（事業範囲の拡大）	京都議定書の発効
平成18年度 (第4回)	多屋平彦氏が組合長に就任	新生産システムが始まる 和歌山県知事に仁坂吉伸氏	地上デジタル放送が全国で始まる
平成19年度 (第5回)	中核作業員15名。社会保障制度等充実対策事業に取り組む		緊急地震速報運用開始
平成20年度 (第6回)	除間伐事業で約230haを実施		リーマンショック 日本の人口が減少に転じる
平成21年度 (第7回)	スイングヤーダ-TW232A購入	森林・林業再生プラン公表	裁判员制度スタート
平成22年度 (第8回)	プロセッサ-Gp25A購入 搬出間伐等の素材生産が本格的に始まる	公共建築物等における木材利用促進に関する法律の制定	宮崎県で家畜伝染病口蹄疫
平成23年度 (第9回)	台風12号（紀伊半島大水害）により林道、作業道、林地に甚大な被害発生	和歌山県田辺市で全国植樹祭開催	東日本大震災 紀伊半島大水害
平成24年度 (第10回)	福山征児氏が組合長に就任 プロセッサ-Gp45V購入	森林経営計画制度がスタート	日本郵政株式会社が発足
平成25年度 (第11回)	森林経営計画（属人）の認定を受ける		小笠原諸島西之島で噴火。新島で きる
平成26年度 (第12回)	素材生産3,533m ³ を達成		消費税5%→8%に
平成27年度 (第13回)	作業道開設年間7,400m		戦後70年 和歌山国体開催
平成28年度 (第14回)	2年連続当期損失金発生 小中学生の森林環境教育に取り組む		選挙権18歳から 熊本地震発生
平成29年度 (第15回)	林業専用道久サ木谷向登尾線着手	和歌山県「森林・林業総合戦略」を策定	新生児100万人を割る 九州北部豪雨
平成30年度 (第16回)	三本修平氏が組合長に就任 林業専用道久サ木谷登尾線2,760m完成	森林経営管理法の制定	台風21号関西空港で大きな被害
平成31年度 令和元年度 (第17回)	「意欲と能力のある林業経営者」に選定 林業専用道市鹿野矢ヶ谷線着手 素材生産11,950m ³ 「日新」へ合板材を出荷	森林環境税、森林環境譲与税創設 森林経営管理制度スタート 木材自給率37.8%	天皇陛下即位。新元号は「令和」 消費税8%→10% 首里城が全焼
令和2年度 (第18回)	高性能林業機械「スイングヤーダ-W302」購入 林業専用道市鹿野矢ヶ谷線2,440m完成	森林組合法改正（多様な連携手法の導入、正組合資格の拡大他） 国産材自給率41.8% グリーン・サーマル紀南発電所が 運転開始	新型コロナウイルス感染症拡大。緊急事態宣言発令
令和3年度 (第19回)	「組合だより」発行 ホームページ開設	第3次ウッドショック 「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用促進に関する法律」が施行	東京オリンピック、パラリンピック開催
令和4年度 (第20回)	大辺路森林組合合併20周年 組合員806名 出資金66,990千円	和歌山県森林・林業 新 総合戦略発表	ロシアがウクライナに侵攻